

無線遠隔監視による故障予知システムの開発

無線ネットワークを利用して、遠隔地などに設置された機器の運転状況をリアルタイムにモニタリングし、故障を予知するシステムを開発しました。

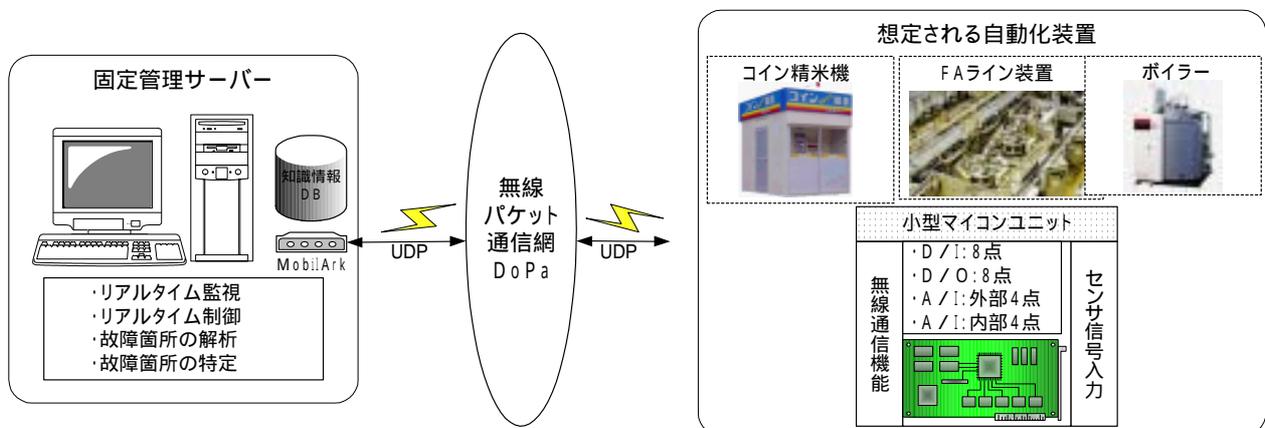
システムの特徴

階層型意思決定モデル理論を用いた故障診断

遠隔地の機器の状況を無線ネットワークを介してパソコンにリアルタイム表示

各種通信回線（アナログ、デジタル、PHS、DoPaなど）に対応

一台のマイコンユニットで複数の機器管理が可能



システム構成図



システム外観写真

システムの用途

産業関係：各種製造ラインの管理など

設備関係：ボイラーの管理など

リモートメンテナンス構築研究 （H15～16年度）

担当者：愛媛県工業技術センター 主任研究員 菊地 敏夫